

平成 30 年 10 月




















一般社団法人 農業土木事業協会




平成 30 年 農業水利施設保全補修ガイドブック 訂正について

該当ページの修正箇所について 朱書きで表示してあります。

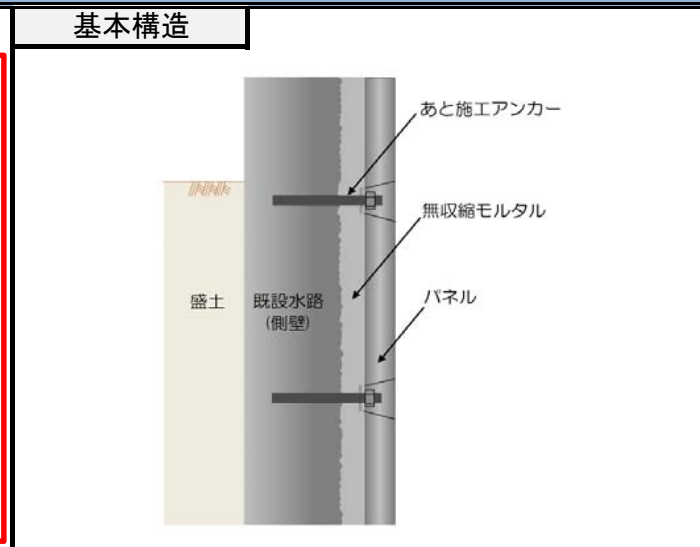
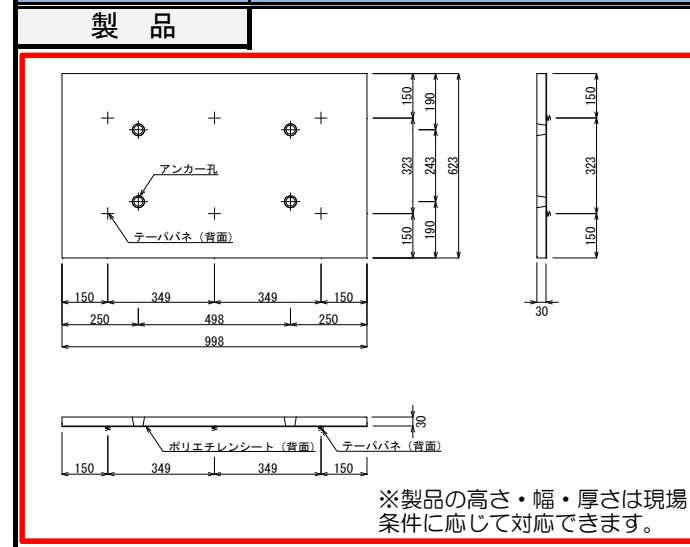
1. 鉄筋コンクリート開水路（ボックスカルバート含む）の補修・補強工法編

【A区分 マニュアル開水路編（案）の品質規格値を満足している工法】

対策区分	工法区分		品質性能確認	名称	会社名	開水路	ボックスカルバート	掲載ページ
補修	表面処理工法	表面被覆工法	無機系被覆工法	 NSアグリコート工法	綾羽工業(株)	○	○	2
				 UBEアクアフィールド工法	宇部興産建材(株)	○	●	4
				 エレホン・マイルドスピリット薄塗り用MS-2	エレホン・化成工業(株)	○	○	6
				 水路補修ECCショット工法	カジマ・リノバイト(株)	○	○	8
				 KHSライニングモルタル	共和コンクリート工業(株)	○	○	10
				 サンユモルタル工法	サンユレック(株)	○	○	12
				 TSC水路補修工法	(株)シクソン	○	○	14
				 AGモルタルライニング工法	ショーボンド建設(株)	○	○	16
				 TMモルタルハード工法	太平洋マテリアル(株)	○	○	18
				 靱性モルタルライニング工法	田中シビルテック(株)	○	○	20
				 靱性モルタル(TYPE-2)	(株)デーロス・ジャパン	○	○	22
				 アクアライニング工法	デンカ(株)	○	○	24
				 MY-300S工法	日本ジッコウ(株)	○	○	26
				 なおシタル工法	(株)ニューテック	○	○	28
				 ASモルタル工法	(株)ホクコン	○	○	30
				 ASモルタルD工法（高靱性）	(株)ホクコン	○	○	32
				 PWモルタル	前田工織(株)	○	○	34
				 高靱性モルタルライニング工法	丸栄コンクリート工業(株)	○	○	36
				 ハイグレード（HIG）工法	(株)丸善	○	○	38
			 エフモル15（高靱性タイプ）	(株)南組	○	○	40	
			 ハイパーモルタル工法	ライト工業(株)	○	○	42	
			有機系被覆工法	 エコガード工法	A G C ポリマー建材(株)	○	○	44
				 KHSライニングスプレー	共和コンクリート工業(株)	○	○	46
				 ネプトラインニング水路工法	サンユレック(株)	○	○	48
				 CVスプレー工法	(株)ダイフレックス	○	○	50
				 HSウレア工法	(株)ホクコン	○	○	52
				 HS-Uイング工法	(株)ホクコン	○	○	54
			パネル工法（接着）	 レジンコンクリートパネル(サンパネル)水路再生工法	(株)サンレック	○	○	56
パネル工法（アンカー固定）	 KHS固定パネル	共和コンクリート工業(株)	○	○	58			
	 FRPM板ライニング工法（標準工法、直貼工法）	(株)栗本鐵工所	○	○	60			
	 サンパネル(レジンコンクリートパネル)アンカー工法	(株)サンレック	○	○	62			
	 ASフォーム工法	(株)ホクコン	○	○	64			
シート工法（有機系）	 PPSライニング工法	積水化学工業(株)	○	○	66			

対策区分	工法区分		品質性能確認	名称	会社名	開水路	ボックスカルバート	掲載ページ
補修	ひび割れ補修工法	樹脂系ひび割れ注入工法		ボンドシリンダー工法	コニシ(株)	○	○	68
				スクイズ工法 A-531	サンユレック(株)	○	○	70
		弾性シーリング材ひび割れ充填工法		ボンド土木用シーリング極(弾性シーリング材)	コニシ(株)	○	○	72
				クリークシーラー AS-920工法	サンユレック(株)	○	○	74
				高機能シーリング材PU-1工法	田中シビルテック(株)	○	○	76
				高機能ハイブリッド型シーリング材『ハイブリッドSIX3』	田中シビルテック(株)	○	○	78
				ジックシールU-300工法	日本ジッコウ(株)	○	○	80
				HSシーリング工法	(株)ホクコン	○	○	82
		可とう性エポキシ樹脂ひび割れ充填工法		Uカットシール材充填工法	コニシ(株)	○	○	84
				A-408 Uカット工法	サンユレック(株)	○	○	86
		ポリマーセメントモルタルひび割れ充填工法		ASEモルタル工法	(株)ホクコン	○	○	30
				ASEモルタルD工法(高靱性)	(株)ホクコン	○	○	32
		断面修復工法		UBEアクアフィールド工法	宇部興産建材(株)	○	○	4
				エレホン・マイルドスピリット薄塗り用MS-2	エレホン・化成工業(株)	○	○	6
			KHsライニングモルタル	共和コンクリート工業(株)	○	○	10	
			サンユモルタル工法	サンユレック(株)	○	○	12	
			TSC水路補修工法	(株)シクソン	○	○	14	
			TMモルタルハード工法	太平洋マテリアル(株)	○	○	18	
			靱性モルタルライニング工法	田中シビルテック(株)	○	○	20	
			靱性モルタル(TYPE-2)	(株)デーロス・ジャパン	○	○	22	
			アクアライニング工法	デンカ(株)	○	○	24	
			MY-300 S 工法	日本ジッコウ(株)	○	○	26	
			なおしタル工法	(株)ニューテック	○	○	28	
			ASEモルタル工法	(株)ホクコン	○	○	30	
			PWモルタル	前田工織(株)	○	○	34	
			高靱性モルタルライニング工法	丸栄コンクリート工業(株)	○	○	36	
		スーパーハイグレード(SHIG)工法	(株)丸善	○	○	88		
		エフモル15(高靱性タイプ)	(株)南組	○	○	40		
	ハイパーモルタル工法	ライト工業(株)	○	○	42			

対象施設	鉄筋コンクリート開水路	対策区分	補修
工法区分	表面処理工法 > 表面被覆工法 > パネル工法（アンカー固定方式）		
工法・材料名称	High Set Series KHS固定パネル		



- 特徴**
- 1.パネルは、高強度でかつ耐摩耗性があります。施工後は中性化・凍害等から本体躯体を保護でき構造物の延命化が可能です。
 - 2.パネルは、あと施工アンカーによって固定し、既設水路とパネルの間にはモルタルを充填します。
 - 3.パネルは、運搬組立が容易で、必要な際には現場での加工が可能です。
 - 4.パネルは、凍結融解に対する抵抗性を有しています(JIS A1148 A法、寒地土研式)。

- 適用条件**
- 1.ひび割れ箇所は、予め所定の処理後パネルを設置します。
 - 2.貫通ひび割れ箇所は、ひび割れに沿って目地を設けます。
 - 3.漏水箇所は、予め止水処理が必要です。
 - 4.開水路のほか、カルバート、排水機場などにも使用できます。
 - 5.充填材・目地材の使用可能な気温に注意が必要です。
 - 6.既設水路の横断寸法により、パネル分割数は変化します。

品質規格（開水路補修マニュアル）への適合性		品質規格	
基本的性能	耐候性	○	
	付着性（アンカー引抜強度）	○	
	耐摩耗性	○	
	グラウト材	無収縮性	○
		耐圧縮性	○

構造諸元	
構造区分	繊維補強コンクリート
補強材	スチールファイバー（SUS）
圧縮強度	80N/mm ² 以上
曲げ強度	15N/mm ² 以上
製造可能厚さ	25～50mm程度

実施例

- ① 下地処理**
 ▼ コンクリート下地面の脆弱部、汚れ等を高圧洗浄機等で除去します。
- ② パネル設置**
 ▼ パネルを所定の位置にアンカーで固定し、目地処理を施します。
- ③ モルタル注入**
 ▼ 既設とパネルの隙間に無収縮モルタルを注入します。
- ④ 完成**

パネル形状

無収縮モルタル

①下地処理（イメージ）

②パネル設置

③モルタル注入

④完成

主な施工実績

平成19年	静岡県	A=約55m
平成19年	静岡県	A=約124m
平成19年	北海道開発局	A=約20m
平成22年	北海道開発局	A=約40m
平成22年	東京都	A=約180m

概算工事費

1㎡当たりの参考単価（施工量・施工形状・現場条件・地域などにより変動します）

直接工事費： 54,000 円/㎡² （パネル t=25mm、無収縮モルタル t=5mm）

高圧洗浄、不陸修正工事費、仮設費、養生費は除く。上記価格は東京労務単価で積算。施工面積200㎡以上、側壁高さ2m以内、側壁天端処理は別途計上いたします。 ※接着方式も別途検討いたします。

本工法に関する問い合わせ先

共和コンクリート工業株式会社

<http://www.kyowa-concrete.co.jp>

本社 060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ
 東京本社 170-0005 東京都豊島区南大塚3-10-10 南大塚スクエアビル
 本州・四国・九州（農業推進部 三宮洋生） sannomiya.h@kyowa-concrete.co.jp ☎ 03-6907-3724
 北海道（北海道営業部営業企画課 小寺恭一） koderak@kyowa-concrete.co.jp ☎ 011-788-6722